

(様式1)

タイトル	「高い学力」「広い視野」「強い意志」を備えた21世紀の社会に貢献できる骨太なリーダーの育成
名称(学校・地域)	長野県諏訪清陵高等学校附属中学校
日時・場所等	
ホームページアドレス	http://suwaseiryo.sakura.ne.jp/

【教育活動の内容】

授業が第一！ ～じっくり学び、深く考える65分授業～

小学校の45分授業より20分長い(通常の中学より15分長い)65分授業を行っています。この65分授業を活用して、今までの授業で不足しがちであった、「気づくこと、学ぶこと、活動すること、考えること、まとめること」などの要素を組み入れた授業を展開しています。

例) 資料を基に広く深く検討する社会科の授業
観察・実験により考察を深める理科の授業



高校の高機能顕微鏡を使う

本物に触れ、本質を学ぶ ～体験的・課題探究的な学習の充実



八ヶ岳農林体験学習(1年)

総合的な学習の時間を「アカデミック・コミュニケーション」と名付け、本校の中核活動として位置付けています。ローカル(地域・国際理解)・サイエンス(科学)・キャリア(生き方)の視点から様々な題材について、生徒自らが追究する探究的な学習を展開しています。

例) 清陵のお膝元発信プロジェクト(1年)
イングリッシュキャンプ(2年)
信州大学医学部研修2日間(2年)

幅広い年齢集団の交流 ～中高交流・中高合同活動の充実

中高一貫校のよさを最大限生かせるように、12歳から18歳という幅広い年齢集団の交流の場を多く設けています。

可能な限り生徒会行事も中高合同で行い、文化祭では、中学生も学年合唱を高校生の前で披露したり、文化系部活は高校生と共にステージに立ちたりと活躍しています。

部活動も、文化系部活を中心に中高合同部活で活動しており、高校生が中学生をまるで先生のように丁寧に指導してくれています。3年生の秋からは仮入部の形で高校の部活動に参加できるものもあり、これも中高一貫校の大きなメリットです。



高校生と共に立つ文化祭ステージ